

# 釧新郷士芸術賞に輝く

## 受賞者の横顔

□中□

故砂原美智子さん  
の指導も受ける

「声楽の場合、歌がうまくなるのは三十歳からですよ」と先生から言われてきました。これからスタート

という時に、こんな立派な賞をいただいて光栄です。

まだまだ未熟な私ですし、ほかにもすぐれた方がたがたくさんいるのに、とても素晴らしい励ましになりました」と今回の受賞の喜び

を語っている。

昭和三十五年、釧路市生まれ、幼少時からピアノに親しんでいたが、北陽高校

在学中に音楽の先生から「あなたはよく声が出る。声楽の道に進んで勉強して

みたらいですか」とすすめられたのがきっかけで、八一年、昭和音楽短期大学（神奈川）に進む。音楽芸術コースで二年、その後、

声楽コースを専攻し、帰釧した。昭和音大時代には同

校教授でもあった日本を代表する名ソプラノ、故・砂原美智子さんの指導も受け、「私は数多くの声楽を志すひとの声をきいている

が、あなたは大丈夫、がんばってごらんさい」と励ます。ディスクールシュルピ

まさされ、「それまで引込みアノ会員で毎年、ソリスト

思案だった私も少し自信が

の夕べに出演、八六年ピアノはモーツァルトの「モテッ

二カ月に一度は京都でレッスン

釧路では河合楽器・音楽

も最も高音域のコロラツ

ラ・ソプラノで活躍、二十

日、釧路市民文化会館で開

演奏に来ていただいた方

に、演奏会に来て良かった

なあ、と思っていただけ

よう心掛けています。これ

まで、釧路音楽協会に育て

てもらった私です。今度の

受賞を励みに、音楽協会の

発展のお役に少しでもた

るよう、これからも精進し

たいと思います」と話している。

現在も二カ月に一度、師

事する京都共大の常森寿子

教授のもとへ通いレッスン

を受けている。ソプラノで

「歌う場合、ひとつひとつ

の曲の中に入っていくのは

もちろんですが、私のため

にだけ歌うのではなく、演

奏会に来ていただいた方

に、演奏会に来て良かった

なあ、と思っていただけ

よう心掛けています。これ

まで、釧路音楽協会に育て

てもらった私です。今度の

受賞を励みに、音楽協会の

発展のお役に少しでもた

# 声楽の魅力追求

## 「この賞を活動の励みに」

つくようになりました。そのの仲西純子氏とジョイント、踊れ喜べ幸いな魂よ」の後、釧路に戻ってきてからトリサイタル、八八年、第

12回釧路音楽協会高後賞、八九年日本演奏家連盟推薦

るに通りレッスンを受けたせてもらいました。先生の

思い出は尽きません」と恩師との出会いを懐かしんでいる。

している。

### 声楽（ソプラノ）

（いりえ）

## 菊地 江さん

釧路市大楽毛西一の一九の六

### 音楽協会の発展へ今後精進

「歌う場合、ひとつひとつの曲の中に入っていくのはもちろんですが、私のためにだけ歌うのではなく、演奏会に来ていただいた方に、演奏会に来て良かったなあ、と思っていただけよう心掛けています。これまで、釧路音楽協会に育ててもらった私です。今度の受賞を励みに、音楽協会の発展のお役に少しでもた

合計六十万円を寄付した。

### 社協などへ60万円を寄付

定光寺住職の大道晃仙さん

今年度の釧路市社会賞を受賞した定光寺住職、大道晃仙さんは二十日、この受賞を記念して釧路市社会福祉協議会と釧路更生観察協会、釧路慈徳会、釧路刑務所教誨師会へ

社会賞受賞を記念し寄付する大道さん（左）



声楽家としてはようやくスタート台、未熟な私には大きな励ましに一と受賞を喜ぶ菊地さん